



介護のこんな時どうしたら・・・？

食事を食べないとき



食事を食べることは生命をつなぐために大切なことです。認知症の症状進行により、食事の摂取状況に変化が見られ、様々な理由が考えられます。

まずは、食事の摂取状況を見ながら、他の病気がないか医師に相談しましょう。

どんな理由があるの？

- ・箸やスプーンなどの使い方が分からない
- ・周りの音や環境に影響され食事に集中できない
- ・食器がたくさんあると、一つの皿の物だけ食べてしまう

どうしたらいいの？

- ・手で食べられるように、おにぎりやパンなどに変更する
- ・一口大にカットする
- ・静かな部屋で食事をする
- ・ワンプレートにする



- ・左右どちらか半分が見えにくく、部分的に残してしまう
- ・麻痺などによりうまく食べることができず、むせてしまう

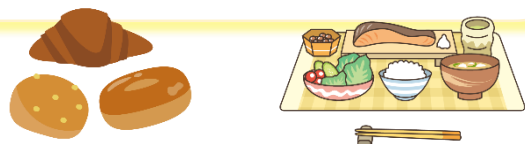
- ・お皿が見える位置に移動する
- ・麻痺などがある場合は、自助具の使用や飲み込みの検査をし、適切な食事形態を選ぶ

- ・行動のコントロールができず、すぐに立ち上がり、落ち着いて座ってられない

- ・テレビの音を消し、静かな環境にする
- ・机の上に食事以外のものを置かない

- ・食べ物の中に虫がいるように見える
- ・距離がつかみづらく食べ残してしまう

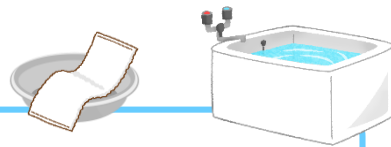
- ・虫に見えるような、ふりかけなどは使用せず、食器も色や柄のあるものは避ける
- ・持ちやすい位置に食器を移動したり、手を添えて介助する



摂取カロリーよりも、食べたい物を食べたい時に少しずつ提供したり、少量を口に入れて味を感じてもらうなどの工夫をしましょう！



お風呂を嫌がるとき

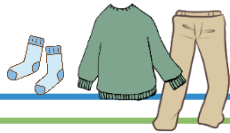


自宅で介護される際、入浴を拒否され対応に悩むことがあると思います。
認知症の進行によりケアの受け入れを拒否する様々な理由が考えられます。

どんな理由があるの？

- ・記憶が曖昧なことで「入った」と思い込んでいる。
- ・入浴の手順が分からない

- ・BPSD（意欲の低下、無関心）の影響
- ・失行や失認により衣服の着脱方法が分からない



- ・見えないものが見えたり、感じたり、恐怖感から入れない
- ・うまく体を動かすことができない

- ・行動のコントロールが出来ず、落ち着かなかったり、計画立てて行動できない

どうしたらいいの？

- ・本人と一緒にカレンダーに書き込み、声に出して確認する
- ・手順をその都度声掛けする

- ・関心のある物を持ち込んだ後に誘う
- ・ボタンなど複雑な動作を減らし、かぶりの服やゴムズボンに変える
- ・一つ一つ動作の声掛けをする

- ・安心できる家族やヘルパーに対応してもらう
- ・不要な物を置かない



- ・無理な誘導はせずに、時間をおいたりお風呂の日をずらす
- ・足浴や身体を拭くなどに変更する
- ・静かな環境で入浴してもらう



当院の在宅生活のご支援は

精神科訪問看護：（介護保険非該当の方も医療保険で受けられます。当院主治医にご相談ください）

自宅でできる運動や家事活動、趣味、脳トレや運動の提案、ご本人・ご家族の生活上の困りごとの相談をお受けします。

御所訪問看護ステーション } ケアマネジャー
訪問リハビリテーション } にご相談を！

痛みがある、浴室が寒いなど、様々な要因から拒否に繋がっていることが考えられます。まずは、本人が不快に感じていることを取り除くことが大切です。

介護・医療制度・入院のご相談は
秋津鴻池病院認知症疾患医療センター
0745-64-2069

コロナ禍のため、認知症家族教室は現在中止中ですが、再開の時期が決まれば、
当院精神科外来掲示板でお知らせいたします。

認知症家族教室に関するお問い合わせは 0745-64-2069 岡崎まで
9:00~16:30（日・祝・年末年始を除く）